

インドネシア鉄道橋の製作

Fabrication of Railway Bridge in Republic of Indonesia

川田工業(株)・四国工場

1. 工事紹介

本工事はインドネシア政府発注の鉄道橋であり、インドネシアの中でも、特に人工密度の高いジャワ島に架設されるものである。

インドネシアの鉄道の歴史は大変古く、従って大部分の鉄道橋も古く順次架換工事を行なっていく必要があり、その様に計画されている。

当社が受注した本工事もその一環であるが、資金は日本政府による円借款となっている。

工事規模としては、16橋、9橋梁タイプとなっている。

表-1 受注橋梁リスト

Standard Bridge No.	Span Length	Type	Quantity	Bridge & Bearing Shoe		
				Bridge(t)	Bearing Shoe(t)	Total(t)
1	20.00	Open Truss	2	62.942	1.756	64.698
2	10.00	Through Girder	2	19.068	1.244	20.312
3	50.00	Through Truss	2	204.085	2.951	207.036
4	35.00	Through Truss	2	139.748	2.384	142.132
5	30.00	Open Truss	1	51.537	1.132	52.669
6	6.50	1. Through Girder	1	5.603	Included in Bridge	5.603
7	8.00	11. Through Girder	1	7.845	Included in Bridge	7.845
8	25.00	Open Truss	2	88.856	2.264	91.120
9	15.00	Through Girder	3	50.435	1.866	52.301

Note : 1. Total Steel Weight : 643.716(t)

全体鋼重としては、上表の通り約640tであり、これらの大きな特色としては、全てリベット橋であるということである。

2. 施工範囲

当社の施工範囲は次の通りである。

1. 詳細設計 (沓を含む)
2. 材料手配
3. 製作
4. 仮組立 (全橋行なう)
5. 塗装 (鉛丹2回塗)
6. 梱包
7. 輸送 (インドネシアの指定港渡し)
8. その他購入品

沓

リベット (スベア含む)

橋歴板

架設用ドリフトピン (スベア含む)

架設用仮ボルト (")

又、納期は、L/Cオープン後、10ヶ月以内に船積を行ない、インドネシアの指定港渡しとなっている。

現在、L/Cは8月25日付でオープンされておりこの技報が出される頃は製作のピークを迎えているはずである。

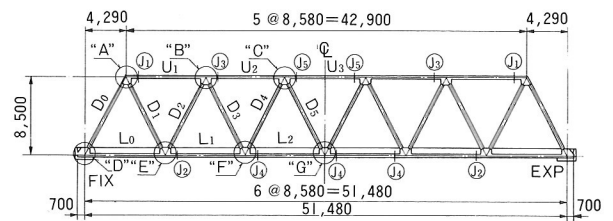


図-1 主構側面図 (Through Truss)

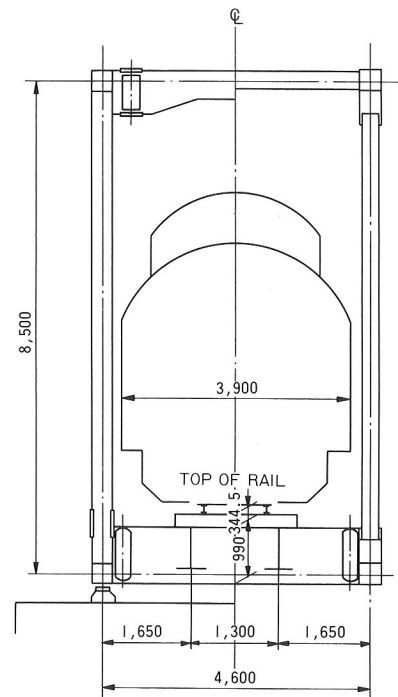


図-2 主構断面図 (Through Truss)

(文責・佐久良剛史)